上位入賞に若手が台頭

経済産業大臣賞は高田裕蒼さん受賞

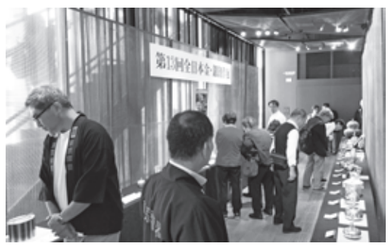
「第13回全日本金銀創作展」

東京金銀器工業協同組合(森將理事長)は「第13回全日本金銀創作展」を開催し、10月26日～27日の2日間、浅草文化観光センター7階 展示会場で同展の入賞作品および応募作品を展示。国内外から100名以上が訪れ賑わった。

今回の応募点数は第1部が53点、第2部は35点、合計88点。その中から経済産業大臣賞に選出されたのは2部に応募した高田裕蒼さんの作品「鍛銀 流し象嵌香炉」。小さな香炉に丹念に施された細工が審査員に高く評価され受賞となった。

4年ぶりの開催となった同創作展は、技術の相互交流を図るとともに、金工技術及び精神のさらなる向上を求め、伝統工芸の継承と産業・経済・文化の発展とともに、国際交流にも寄与できることを目的とし、応募はプロ、アマ問わず幅広く呼び掛けて実施された。

森理事長は「銀器は皇室におかれましてはボンボニエールをはじめ、全ての儀式において必要不可欠な品々です。この令和元年に開催できることは非常に名誉であり光栄です」と語り、泉健一郎実行委員長は「今回の創作展は3月の理事会から本格的にスタートし、開催には様々な作業が多く、準備は大変でした。しかしその苦労の甲斐もあり、前回よりも応募点数が増加し、多彩な作品が揃いました」とコメント。



今回の創作展は今年の新年会で東京銀器伝統工芸士会の石黒昭雄会長が技術の継承のためにも創作展開催が必要だと挨拶で述べたことから実現に向けて取り組んできたもの。

石黒会長は今回の内容について「経済産業大臣賞を受賞した作家は30代、第1部のトップも40代と、若手の台頭が非常に頼もしく、力強い結果となった。今後も是非創作展を継承できるように頑張りたいと思います」と述べた。

会期中会場には国内外から1000名以上の来場者が訪れ、銀器の伝統技術の魅力を多くの人にアピールすることができ、創作展は大きな成果を得た。なお、11月26日に上野精養軒で授賞式を予定。

各部門の上位3賞は以下のとおり。

〈1部〉関東経済産業局長賞「正逆亀甲霰花器」小平岳夫、東京都知事賞「樹枝結晶銀花器」新井　創、東京都産業労働局長賞「波紋 湯沸」石黒光南

〈2部〉経済産業大臣賞「鍛銀 流し象嵌香炉」高田裕蒼、関東経済産業局長賞「市松木目煙草箱」相川千明、東京都知事賞「香合「華火」」佐藤奈々美

(敬称略)

お店とお客様の橋渡しができる!!
販売員さんご紹介します！
BICO・GHI株式会社
エムシージーマネキン紹介事業部
東京　TEL:03-3409-6954
札幌　TEL:011-219-0758
大阪　TEL:06-6348-1020

有ることが当たり前ではないモノに感謝するということ

東京眼鏡販売店協同組合(白山聡一理事長)が、10月1日「めがねの日」に、上野不忍池弁天堂で行った「第7回めがね供養会」での代表者祭文をここで紹介したい。

『我が国にメガネが渡来して以来、四百七十余年の時が流れ、その間諸先輩の絶え間ない研究と改良により、メガネフレームもレンズも大いに進化し、いまや生活のあらゆるシーンで誰もが違和感なくメガネを装用し、快適な視覚を享受できるようになりました。

視るということを保証する生業は、眼科医療を筆頭に様々ありますが、メガネは最も広く知られた補正道具です。それ故に永きにわたり装用者一人一人の生活の中で苦楽をともに過ごし、その役割を終えたメガネに対し心より感謝を申し上げます。

我々日本人は古来より、生き物だけでなく万物に霊魂が宿ると考え、生活に関わるあらゆる物に敬意と感謝を表す習慣があります。ともに過ごし、豊かな生活をもたらしてくれた愛着あるメガネ、人間とメガネの関係はもはや体の一部の関係にあり、そのメガネの行く末を最後まで見届けることは、メガネを調整したメガネ店の務めであると考え、私たちは6年前よりこの「供養会」を開催して参りました。

回を重ねるごとに、各関係者よりその趣旨にご賛同いただき、いまでは茶毘に付すには惜しい良品については、もう一度メガネとして再利用しております。

昨年度、第6回供養会では、供養を終えたメガネを当組合と学校法人東京眼鏡学園・東京眼鏡専門学校との産学協働事業によって良品選別や補修作業を行ったうえで、当組合員がスリランカへ渡航し、現地にて約52個のメガネ寄贈事業を実行いたしました。

私たち東京眼鏡販売店協同組合は、毎年春に行っている業界物故者追善供養と合わせ、ここ不忍池弁天堂のメガネ碑の御前に、メガネに関わるヒトとモノへの感謝と追悼の誠をささげ、我が国の眼鏡関連産業のますますの発展を祈願するとともに、メガネが国民のQOL(クオリティオブライフ:生活の質)の向上に欠かせぬQOV(クオリティオブビジョン:視ることの質)の役に立つものであり続けるよう努力いたしますことをお誓い申し上げ、祭文とさせていただきます』。

ご住職は、「モノに命が宿ると思うか。目に見えることだけが全てだろうか。目に見えないことは、信じること。そして感謝すること。ここでは感謝されたメガネを供養する。感謝されたメガネが再利用されたとき、その思いは伝わることでしょう。再利用した人は喜ぶはずです。モノにも思いは宿るということ。」などと語りかけた。

腕時計レンタル「KARITOKE」

累計会員数2万人を突破

CtoC機能KASHITOKEなど新しい取り組みも

ななし㈱(大阪市北区、小山力也代表)が運営するブランド腕時計レンタルサービス「KARITOKE(カリトケ)」の累計会員数が、9月30日付で2万人を突破した。

「KARITOKE」は、気軽に腕時計を楽しみたい、興味はあるが敷居が高いといった悩みを持つ人の為に、「腕時計のある生活」をコンセプトに2017年6月にサービスを開始した、日本最大の腕時計のサブスクリプション。

今までになかったブランド腕時計のサブスクリプション「KARITOKE」により、ブランド腕時計をファッション感覚で気軽に楽しむ人が多くなってきているという。

「KARITOKE」の実際の利用のきっかけとしては、『購入するより月額制かつレンタルの方が、メンテナンス等の資金負担が楽だから』『購入を検討しており、試着感覚で利用したいから』『仕事だけでなく、結婚式などイベントでも利用したいから』『購入しても飽きてしまうから』などが挙げられている。

「KARITOKE」は、月額3980円～1万9800円＋税の4つのプランでROLEXやOMEGAなど、44ブランド400種類以上のブランド腕時計を返却期限なく楽しむことができるサービス。

ネットだけでなく、2017年に東京の有楽町マルイ、2018年に大阪のなんばマルイに常設店をオープンした。

さらに、2018年に個人顧客から使わないブランド腕時計を預かり、レンタルされたらキャッシュバックを支払うCtoC機能「KASHITOKE(カシトケ)」の開始や、2019年にはスマートウォッチの取り扱い開始など新しい取り組みを行っている。

同社としては、「KARITOKE」のサービスを通じて、ブランド腕時計を「購入する」から「借りる」という新しい選択肢を生み出すとともに、今まで敷居が高いと敬遠していた人にもブランド腕時計をより身近に感じてもらえるよう提案していくとしている。

HOYAアイケアカンパニーが環境問題に取り組む協定を締結

コンタクトレンズ専門店「コンタクトのアイシティ」を事業展開するHOYA㈱アイケアカンパニー(東京都中野区)は、東京都東大和市と『使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に係る協定』を10月24日付で締結し、“循環型社会の構築”をともに目指すと発表。同社にとって初めての公共団体との協定締結となった。

同社は「アイシティecoプロジェクト」を2010年4月より実施し、全国のアイシティ店頭で空ケースの回収事業を行っている。

また、この回収活動に賛同する団体を募集し、9月末時点では、企業543社、高校710校、中学校284校に協力を得る活動にまで成長させた。

その結果、同事業はこれまで約326トンの空ケースを回収し、東京ドーム約54個分の二酸化炭素削減に貢献した。

そして同事業をさらに広めていくため、公共団体と協定を締結し、ともに同事業を推進することになった。なおこの事業は、2015年の国連サミットで可決された、持続可能な開発目標であるSDGsの各種目標に合致した事業となっている。

高機能レンズを追加料金なく提供

日本初のメガネのサブスクリプション「NINAL」がサービスをアップデート

メガネの田中チェーン

全国に107店舗を展開するメガネの田中は、今年4月にサービスを開始した日本で初めてのメガネのサブスクリプション「NINAL(ニナル)」で、11月9日より、利用できるレンズの種類を拡大。今までの近視・遠視・乱視・老視・遠近・中近・近々・カラーレンズ(サングラスレンズ)に加え、目に優しい保護機能をもつレンズや、遮光・偏光・調光などの高機能カラーレンズの提供を始めた。また、12日には、NINAL公式LINEでオペレーターとのチャット機能が新たにスタート。従来型の自動返答対応に加えて、オペレーターにオンラインでリアルタイムに相談することが可能になった。

今回追加された高機能レンズ(遮光・偏光・調光などの機能性カラーレンズや、目に優しい保護機能をもつレンズ)は、通常のレンズに比べて一般的に価格設定が高いため利用のきっかけが少なく、快適さを実感できる機会があまりないのが課題だった。

それらが新たにNINALの提供レンズとして加わったことで、追加料金なく月額定額制で気軽に体験できるようになり、常に最適なメガネをかけ続けてもらいたい、というNINALだからこそのサービスの進化といえるだろう。

家庭用永久磁石磁気治療器
ULTRA Neo®
PAT.Japan·USA China EPC
金具のないネックレス
簡単に着脱できるマグネット式にして、留め金を無くしました。多彩なカラーと素材展開で、どんなスタイルにも対応できます。
http://www.sunchalaine.com
株式会社 サン・シャレーヌ
〒110-0005
東京都台東区上野5-16-16 天美ビル3階
TEL:03-3836-5800　FAX:03-3836-5850
E-mail:info@sunchalaine.com
ULTRA Neo®は当社の登録商標。商品は当社の特許製品。模倣行為は違法であり、禁止。

路傍のカナリア59

台風19号

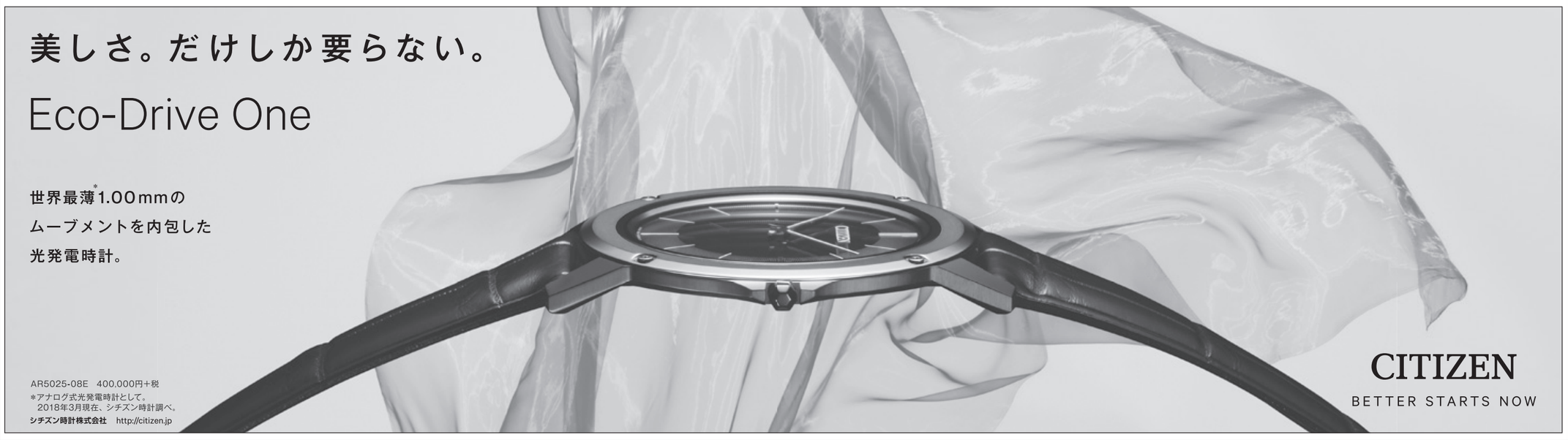
逃避行の顛末

雨脚が一段と強くなってエリアメールに避難勧告が頻繁に入ってきたが、たいしたことはないとタカをくくっていた。生まれてこのかた一度たりとも氾濫したことのない川なのである。行政などは何事もいささか大げさに報じて、所詮責任逃れの方便にするつもりだろうと悪推測をして家の中で寝転んでいた。

初老の夫婦と犬一匹、逃げる気になれば何とかなるものだ、というのが本音の部分。「危なくなったら駅近くのビジネスホテルに一晩厄介になればいい」などと軽口を叩いていたが、揺らいだのは、上流のダムが流れ込む水量の増加のため一時間後に緊急放流するというメール。嫌な予感、不安感が急上昇。台風の本番はこれからなのに緊急放流かい。ダムの「緊急放流」。ため込んだ満杯の水を一気に下流に放流するという想像が頭を駆け巡る(実際は違うらしいが)。ここに台風直撃が重なるとこりゃちょっとやばいかな。猶予一時間が焦りを誘う、とりあえずホテルへ電話。「満杯です。お部屋はありません」。後手を踏んだか、どうするか、午後4時薄暮、躊躇しているうちに暗くなったらもっと怖い。ビジネスホテルに次々と電話。家人も協力しているが、もう手が震えていて番号が押せない。ようやく隣町のホテルに空き室ありの返事。19000円、一瞬迷ったが、確保。犬だけ一階から二階へ移動させて取るものもとりあえず避難。タクシーを呼ぼうと思ったが考えてみれば、この台風の中来ないだろうということで結局自分の車を使うことに。走らせてみれば激しい雨と薄暗い夕方。普段の雨の日とは全く違う状況がまず想定外、道路の冠水のリスクもあれば、ワイパーもろくに役に立たないほどの視界不良。道行はある程度は分かるものの隣町に入ればやはりどこかで道を間違える危険もある。ともかく台風の中、車の運転自体が問題なのだが、ではどうすると言っても他に手立てのあるはずもない。後から聞けば自宅近くの避難所はすでに満杯だったのこと。ホテル指定の駐車場からホテルまで風雨激しく傘もさせずにずぶ濡れになりながらようやくたどり着いて、一息入れた。やれやれ。

テレビをつけるとあちこちの河川が氾濫したり、その寸前まで水位が上昇している映像が入ってくる。とエリアメールで緊急放流が延期になったとのこと。なんだと思うが、状況は刻々と変化しているのだろう。台風は伊豆半島に上陸の報。直撃通過は夜9時ごろだという。雨風ともに弱まったが一時の事だろうと思いコンビニで弁当を買って腹ごしらえ。クライマックスはどんなことになるのやら、家の事も気に掛けながら外を眺めていたが、一向に雨も風も強まらない。そのまま一晩が過ぎた。予測よりも台風は北にそれた。今回の台風の進路は日本だけでなく、フィリピンでも台湾でも予測していて、同じ予想進路だったと聞いていたが、それは海上でのことで上陸をすると地上との兼ね合いで、そう正確にはいかないのだろう。進路予測が正確になればなるほど、逆目が出た時の混乱は大きくなる。千曲川の氾濫惨事も予想進路を過信したが故のことかもしれないとも思う。

眠れない夜を過ごして、自宅へ戻る。我が家の愛犬は元気。家も無事。これなら自宅でジッとしたほうが良かったか。それは結果論。

教訓はなんだろうか。垂直避難という言葉がある。二階へ逃げる。屋根上に逃げる。でもその先はない。「早めに遠くに逃げる」これが正解で難しいのだ。とりわけ「早め」が難しい。その難しさを体験したことが教訓という事だろう

貧骨
cosmoloop.22k@nifty.com